３０．松之山街道（まつのやまかいどう）

選定箇所：添景寺下～原山（新潟県上越市）・菅刈～薬師峠（十日町市）

概要：戦国時代に関東管領山内上杉氏の名跡を継いだ謙信が関東行軍のため、上越市の居城春日山城から南魚沼市塩沢宿に至る街道整備を進めたのが始まりとされる。街道沿いには直峰（のうみね）城などの支城が点在し「上杉軍道」とも呼ばれる。江戸時代、高田藩主松平光長の時代、領知が頸城郡東部から魚沼地方に広がり、高田城から魚沼郡内の役所や村々への御用状の継立や経済活動の活発化等により街道の役割は増し、宿駅の整備が進められた。

松之山街道（菅刈）（十日町市）

松之山街道　石畳（上越市）